
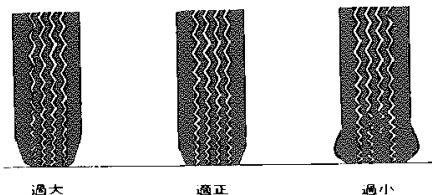


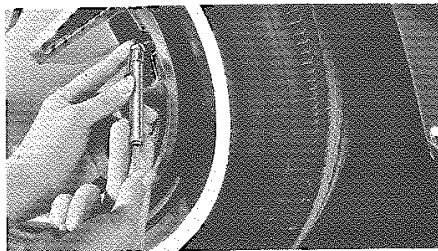
リヤ・ビュー・ミラー……運転する姿勢で後方がはっきり見えることを確認します。
 燃料計……ガソリン残量を確認します。
 充電計、油圧計……エンジンを始動してウォーニング・ランプが消灯することを確認します。

車外での点検

 = タイヤの点検



タイヤの空気圧を見ます。外観より判断する目安は図のとおりです。タイヤの空気圧は常に適正に保ってください。
 空気圧を計るときは、次のようにして行ないます。



タイヤの空気口のキャップをはずし、タイヤ・プレッシャー・ゲージを、空気が漏らないようにしっかりと空気口に押さえつけます。とび出してきた目盛棒は、勢いにより多目にとび出すことがありますので、指で軽く押さえゆっくりはなしてから目盛を読みます。測定後、空気の漏れがないことを確かめ、キャップをはめます。

標準空気圧

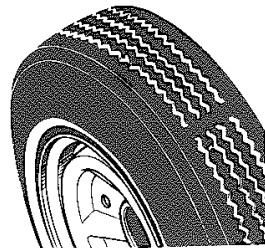
前 輪	1.5kg/cm ² (1.8kg/cm ²)
後 輪	1.5kg/cm ² (1.8kg/cm ²)

()内は100km/h以上の連続高速走行時の空気圧です。

空気圧を調整するときは、スペア・タイヤも調べ少し高めに入れておきます。

摩耗表示

タイヤの溝の深さが1.6mm以下になると図のように、タイヤの周囲数ヶ所で溝が途切れるようになっており、タイヤ交換の時期をお知らせするようになっていきます。このまま走行しますと特に高速走行時等危険を伴う場合がありますので、すぐにタイヤを交換してください。



2 =各ランプ類

ランプ類、スイッチ類の点検

ストップ・ランプ	ブレーキ・ペダルを踏んで、点灯することを確認します
ヘッド・ランプ	ライト・コントロール・スイッチを2段目まで引いたのち、デイマー・スイッチを作動して、点灯を確認します。
ヘッド・ランプ・ホーン	レバーを手前に引いて、ヘッド・ランプのハイ・ビーム<4灯>が点灯することを確認します。
ハザード・ウォーニング・ランプ	ハザード・ウォーニング・スイッチを引き、ターン・シグナル・ランプが前後左右とも同じ早さで点滅することを確認します。
パーキング・ランプ	ハザード・ウォーニング・スイッチを右へ1段、2段、左へ1段まわすことによって、それぞれのパーキング・ランプが点灯することを確認します。
テール・ランプ スモール・ランプ ライセンス・プレート・ランプ メーター・パイロット・ランプ	ライト・コントロール・スイッチを1段引き出して、それぞれのランプが点灯することを確認します。

次の点検はエンジン・スイッチをONにして行なってください。

ターン・シグナル・ランプ	ターン・シグナル・レバーを上および下に操作して、点滅することを確認します。このとき、計器盤のインジケータ・ランプも同時に点滅することを確認します。
バック・アップ・ランプ	シフト・レバーをR(リバース)の位置にして点灯することを確認します。
計器類	各インジケータ・ランプが点灯するか、ゲージが作動するか確認します。エンジンを始動して、各警告灯、ゲージが作動することを確認します。

万一ヒューズ、ランプ類などを点検し、直らない場合にはサービス工場へ連絡してください。(ヒューズ、ランプ類の点検についてはセルフサービスの項をごらんください。)

3 =下まわり

車をとめておいた地面に、油とか水の漏れたあとがないか調べます。

もし異常があると思われるときはサービス工場で点検を受けてください。

4 =ライセンス・プレートの点検

汚れ、損傷のないことを確認します。